

| 【国語】 | | | | |
|--|---|--|--|--|
| 〈小・中学校で大事にしたいこと〉 自分の考えをもち、伝え合う児童の育成 | | | | |
| | 重点目標 (育成したい力) | 重点を置く 領域・活動 (学習指導要領) | 具体的な取り組み | |
| 小学校 | 低学年 | 考えたこと、表現したいことを適切に文にする力。登場人物の行動や心情など、具体的な言葉で表すことができる児童の育成。 | 〔知識及び技能〕 (1) ア, オ, カ, キ (3) ア, イ, エ 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと (1) ア, イ, エ, オ C 読むこと | ・場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら、動作を取り入れることによって、言葉の意味をより理解させる。 ・読み方を工夫したり、動作化したりすることにより、登場人物の気持ちや様子を具体的に想像できるようにする。 |
| | 中学年 | 物語文に出てくる登場人物の、細かな心情の違いや言葉の意味の違いを知るだけでなく、その面白さを実感し、文章で書かれた場面の様子を想像しながら読むことができる児童の育成。 | 〔知識及び技能〕 (1) ア, オ, カ, キ (2) ア, イ (3) ア, イ, オ 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと (1) ア, イ, エ, オ C 読むこと (1) (2) | ・文章を読む際は、意味や使い方が分からない語句について、辞書を使って調べさせる。 ・教科書の挿絵にある人物の表情や色に注目させることを通して、文中で使われているオノマトペの使い方や意味を理解させる。 ・物語に出てきた言葉をたくさん使って、おもしろさを紹介するように伝える。 |
| | 高学年 | 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。根拠をはっきりさせ、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。自分の意見をもちつつ、相手の考えを認める。 | 〔知識及び技能〕 (1) ア, イ, オ, カ, キ, ク (2) ア, イ (3) ア, イ, ウ, オ 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと (1) C 読むこと (1) (2) | ・作者の世界観や多様な言葉の使い方を理解するために、教材に関連した本を紹介し、並行読書をおこなう。 ・ブックトークの時間を設けたり、取材をする活動を取り入れたりして、自分の考えやわかったことを伝えたいような課題、場を設定する。 |
| 中学校 | 内容や事柄を正確に理解する資質・能力、及び内容や事柄を適切に表現する資質・能力の育成。 | 〔知識及び技能〕 (1) ア, イ, オ, カ, キ, ク (2) ア, イ (3) ア, イ, エ, オ 〔思考力, 判断力, 表現力等〕 A 話すこと・聞くこと (1) (2) C 読むこと (1) (2) | ・説明文に触れる機会を多く設定したり、短い説明文で要点をつかむ練習を積みせたりする。 ・自分の意見を相手に効果的に伝えるためにはどのように内容を工夫したらよいかを考えながら話し合い活動を行う。また話し合い活動を個人からグループ、さらに全体へという形で行うことで、互いの意見や考えを発表し、自分の意見を深めていけるように指導、支援していく。 | |